

2005年 2月17日

会社名 株式会社 大丸
 コード番号 8234
 代表者名 取締役会長 奥田 務

2005年 1月度 大丸 連結営業報告

1. セグメント別売上高対前年増減率(%)

	1 月 度	9 ~ 1月 累 計
百貨店業	1.8	2.2
スーパーマーケット業	1.0	0.7
卸 売 業	17.6	8.1
その他事業	14.6	14.6
連結合計	3.7	0.3

(注) 売上高にはその他営業収入を含めていない。また、各事業の売上高には連結会社間の売上高を含む。

2. 百貨店業 売上高概況

1) 店舗別売上高対前年増減率(%)

	1 月 度		9 ~ 1月 累 計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
心齋橋店	1.6	3.1	2.4	7.5
梅田店	0.5	1.0	2.3	3.0
東京店	0.3	6.0	3.2	1.1
京都店	6.3	4.4	0.9	3.1
山科店	1.3	-	2.6	-
神戸店	2.6	3.0	1.9	4.2
新長田店	3.4	-	7.0	-
須磨店	3.4	-	6.3	-
芦屋店	2.7	-	6.5	-
札幌店	13.2	2.9	9.6	1.8
直営10店舗計	3.0	1.1	1.0	1.8
博多大丸	3.9	3.8	6.6	6.2
下関大丸	0.2	2.0	6.6	4.8
高知大丸	1.8	6.1	4.6	6.4
今治大丸	2.2	-	3.4	-
百貨店業合計	1.8	-	2.2	-

(注) 直営店の入店客数合計の対前年増減率は、心齋橋、梅田、東京、京都、神戸、札幌の6店計である。

2) 直営店 商品別売上高対前年増減率(%)

	1 月 度	9 ~ 1月 累 計
紳士服・洋品	4.7	0.9
婦人服・洋品	5.2	1.1
子供服・洋品	2.6	6.3
その他の衣料品	2.5	4.0
衣料品計	4.8	1.4
身の回り品	3.7	0.0
家具	1.8	6.3
家電	7.9	7.7
その他の家庭用品	0.7	2.4
家庭用品計	0.7	2.9
食 料 品	0.2	0.7
食堂・喫茶	3.6	5.8
雑 貨	1.6	2.5
サ ー ビ ス	3.7	5.0
そ の 他	12.1	19.3
合 計	3.0	1.0

3. 概況

1) 百貨店業

- ・ 1月の百貨店業の売上高は、ようやく気温が平年並みに低下したことで、婦人・紳士衣料を中心にクリアランスセールが活況を呈し、直営店では対前年3.0%増、全体では同1.8%増となった。
- ・ 直営店の店別売上高は、衣料品を中心に好調な札幌店は9ヶ月連続、京都店は前月の周辺店舗「ルイ・ヴィトン」オープンによる嵩上げ効果もあり2ヶ月連続で前年を上回ったのをはじめ、心斎橋店、梅田店は11ヶ月振り、神戸店も5ヶ月振りに前年を上回った。
- ・ 商品別では、婦人服・紳士服ともヤング・ヤングアダルトを中心にクリアランスセールが盛況で重衣料からカジュアルまで好調に推移した。前月まで不振であったブーツもクリアランスを機に活発な動きを見せたほか、マフラー、帽子、手袋などの防寒用品もよく動いた。食料品はバレンタイン前哨戦が好調な洋菓子が牽引、また雑貨は化粧品、宝飾品、時計などに動きがあった。
- ・ 博多大丸は婦人服が前年を上回る堅調さを見せたものの、食品フロア改装工事に伴う面積減の影響が大きく全体では前年を下回った。高知大丸は催事強化が奏効し11ヶ月振りに前年を上回った。

2) その他

- ・ スーパーマーケット業の大丸ピーコックの売上高は、対前年1.0%減であった。関東地区は前月の新店1店オープンによる嵩上げ効果もあり対前年0.4%増、一方、関西地区は同3.2%減であった。
- ・ 卸売業の大丸興業の売上高は、電子部品や軽金属、畜産品などが好調で対前年17.6%増となった。
- ・ その他事業では、建装事業の大丸装工や人材派遣業のディンプルなどが大きく伸ばした。

お問い合わせ先	株式会社 大丸グループ本社	広報・IR部
	TEL	06-6281-9002
	FAX	06-6245-1343